

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林環境教育・木工教室等による地域との交流（継続）	
流域名	湖南流域	
重点事項番号		
実施箇所及び実施日	(1)滋賀森林管理署一丈野国有林 平成22年4月17日 (2)滋賀森林管理署一丈野国有林 平成22年11月20日 (3)滋賀県大津市瀬田小学校 平成22年12月11日	
取組の背景及び必要性	子ども達や若い世代へ森林・林業にふれ合う機会の提供やボランティア団体への活動場所の提供など、林業体験を通じた地域との交流が求められています。	
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 森林・木工教室の実施及び「遊々の森」活動の支援の外、「琵琶湖・淀川流域の森づくり体験活動」を府県と連携し、間伐、植樹等を実施してきました。</p> <p>【平成22年度の取組内容】 (1)カブトムシの幼虫を育てるため、寝床に腐葉土を被せる等の作業をした外、除伐作業も体験しました。(2)滋賀県森林インストラクター会と連携したイベント（森とのふれあい学び塾）では、一般公募者が樹木観察ウォークや木工クラフト作りをしました。(3)地元小学校で、子どもから大人を対象に、デジタル紙芝居や木工教室を行いました。</p>	
国有林担当部局・役割	滋賀森林管理署業務課、流域管理調整官 (企画、実行、技術資材の支援)	
連携協働相手先・役割	小・中学校、PTA、養護学校、スポーツ少年団、ボランティア団体 森林インストラクター会(企画、実行、募集、引率)	
取組の結果、反響、今後の課題等	(1)昆虫を題材にすることで、子ども達も山のことを身近に感じていました。(110名参加)(2)今回で3回目となりましたが、参加者が減少傾向にあります。(12名参加)(3)例年参加者が多く、森林・林業の普及啓発に役立っています。(160名参加)	
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：署HP掲載、プレスリリース 効果：森林環境教育や林業体験により、自然環境、森林・林業への関心の期待と国有林のPRが可能となります。	
取組の実施に要した経費（単位：千円）		
取組の概要（内訳）	国有林負担	相手先負担

【参考資料】

取組名	森林環境教育・木工教室等による地域との交流（継続）
(1) 遊々の森活動	
	
カブトムシについて学習する	カブトムシの幼虫を探す
(2) イベント「森とのふれあい学び塾」	
	
樹木観察	木工クラフト
(3) 森林・木工教室	
	
デジタル紙芝居	自慢の作品に満足

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	地域との密着を目指した「治山の森」(新規)	
流域名	湖南流域	
重点事項番号		
実施箇所及び実施日	(1)滋賀森林管理署一丈野国有林 平成22年11月 6日 (2)滋賀森林管理署一丈野国有林 平成22年 4月18日～12月12日	
取組の背景及び必要性	明治時代から今日に至る一丈野国有林内の治山施設の定期的な点検・維持管理や治山事業に対する地域の理解が必要なため。	
取組の内容	<p>【平成22年度の取組内容】</p> <p>(1)大津市スポーツ少年団員とその保護者を招き、イベント「治山の森を知ろう」を実施しました。イベントでは、同国有林内の治山事業についてのPRの外、「治山の森」として整備したバリアフリーの遊歩道沿いで、参加者全員が緑化種子(ヨモギ、イタドリなど)の手播きを行い、簡易な治山を体験しました。また、当地域に生育しているタマミズキやクロマツ、ヤマモモの記念植樹も行いました。</p> <p>(2)ボランティア団体「NS滋賀」は、バリアフリーの遊歩道周辺を主に清掃、草刈などを実施しました。</p>	
国有林担当部局・役割	滋賀森林管理署治山課、業務課、流域管理調整官 (企画、調整、実行、技術支援)	
連携協働相手先・役割	地元市民、ボランティア団体(NS滋賀) (企画、実行、引率)	
取組の結果、反響、今後の課題等	(1)森林の役割、存在等を歴史を通して学習ができたなどの感想が寄せられた外、参加者が運営するホームページでも紹介されました。(30名参加)(2)NS滋賀とは、現在「ふれあいの森」を協定中であり、継続した施設整備ができました。	
PRの実施状況及びその期待する効果	PR:署HP掲載、各種イベントでパネルを利用 効果:治山事業の必要性や森林の持つ多面的機能(防災機能・保健休養など)への理解及び認識向上が期待されます。	
取組の実施に要した経費(単位:千円)		
取組の概要(内訳)	国有林負担	相手先負担

【参考資料】

取組名	地域との密着を目指した「治山の森」(新規)
-----	-----------------------

(1) イベント「治山の森を知ろう」



パネルを使って説明



緑化種子の手播き



ヤマモモを植樹する子ども達

(2) ボランティアによる施設整備



作業前のミーティング

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	低コスト路網の推進（新規）	
流域名	湖南流域・湖北流域	
重点事項番号		
実施箇所及び実施日	(1)滋賀森林管理署ハツ尾山国有林 平成22年10月 6日 (2)滋賀県犬上郡 びわ湖造林公社林 平成22年10月 7日	
取組の背景及び必要性	森林吸収源対策が重要となっている中で、民・国が互いに隣接したエリアで林業専用道の連結などの調整を図ることで、間伐の推進に向けた取組が必要となるため。	
取組の内容	<p>【平成22年度の取組内容】</p> <p>滋賀県及びびわ湖造林公社との共同により、民・国有林で路網研修会を実施しました。研修会には近隣の林業従事者、森林管理局署職員等も参加しました。</p> <p>研修では、(1)低コスト路網と高性能林業機械による事業実行箇所について、(2)民有林が実施する路網開設箇所について、それぞれ現地で検討会を実施しました。</p>	
国有林担当部局・役割	滋賀森林管理署業務課、治山課、流域管理調整官 (企画、調整、実行)	
連携協働相手先・役割	滋賀県、市町、滋賀県・びわ湖造林公社、地元森林組合等 (企画、実行)	
取組の結果、反響、今後の課題等	当署では作業路網を使った作業システムの経験が少なく、低コスト路網（集材路）作設に当たって、技術的な課題や対応方法を滋賀県を含む関係者とともに検討することができました。(53名参加)	
PRの実施状況及びその期待する効果	PR : プレスリリース 効果：低コスト林業の見本として民有林の間伐促進及び地域に適した林業専用道・森林作業道の開設方法の構築が期待されます。	
取組の実施に要した経費（単位：千円）		
取組の概要（内訳）	国有林負担	相手先負担

【参考資料】

取組名	低コスト路網の推進（新規）
-----	---------------

（1）国有林内の研修



丸太組アンカーによる補強



集材路の取付け



沢の横断

（2）民有林内の研修



作設者による説明



公社造林地の作業道

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	伊崎国有林におけるカワウ森林被害対策（継続）		
流域名	湖南流域		
重点事項番号			
実施箇所及び実施日	滋賀森林管理署伊崎国有林 平成22年4月～平成23年3月		
取組の背景及び必要性	カワウの巨大コロニーである伊崎半島（国有林）において、民・国・の広域的な連携体制の枠組みの中で、継続的に協調した取組を進めることが必要となっています。		
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 カワウ対策方針（H19年作成）及び特定鳥獣保護管理計画（滋賀県）に基づき、滋賀県と連携したカワウの銃器捕獲を実施してきました。 また、毎年開催しているワーキンググループ会合（委員4名外）により提案を受けた森林被害対策等も実施してきました。</p> <p>【平成22年度の取組内容】 カワウ生息数調査及び森林影響調査を毎月1回実施しました。ワーキンググループでは、通常の会合とあわせ、現地研修会も開催しました。（7月） また、滋賀県によって実施された銃器捕獲（4月～8月）でも連携・協力を行いました。</p>		
国有林担当部局・役割	滋賀森林管理署業務課、治山課、流域管理調整官、局指導普及課、箕面森林環境保全ふれあいセンター（技術指導、連絡調整）		
連携協働相手先・役割	（独）森林総研、琵琶湖博物館、京都大学、（株）イーグレットオフィス（検証、助言、提言） 滋賀県、中部近畿カワウ広域協議会、		
取組の結果、反響、今後の課題等	森林影響調査では新たなデータも蓄積され、ワーキンググループ会合の検証に反映がされました。なお、銃器捕獲では、ほぼ計画どおりに実施できていますが、依然として生息数は減少しておらず、引き続き対策が必要です。		
P R の実施状況及びその期待する効果	P R：プレスリリース、署HP掲載 効果：カワウによる森林被害地の植生回復及び市民等への情報発信による国有林の取組の理解が期待されます。		
取組の実施に要した経費（単位：千円）			
取組の概要（内訳）	国有林負担	相手先負担	

【参考資料】

取組名

伊崎国有林におけるカワウ森林被害対策（継続）



ワーキンググループ現地研修会(7月)



カワウ森林影響調査(4月)



掛け矢叩き(8月)



銃器捕獲を取材(5月)

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	「伊崎国有林カワウと人との共生の森プロジェクト」(継続)
流域名	湖南流域
重点事項番号	
実施箇所及び実施日	滋賀森林管理署伊崎国有林 平成23年4月～11月
取組の背景及び必要性	カワウによる森林被害対策を取り組むうえで、一般市民やボランティア団体等の理解と協力は不可欠なため。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>平成20年度に「ふれあいの森」を設定し、ボランティア団体、一般市民等による森林整備活動に取り組み、カワウと人との共生を図りつつ、植生回復などカワウ被害対策を実施してきました。</p> <p>【平成22年度の取組内容】</p> <p>「ふれあいの森」を協定中のボランティア団体、「ヒマラヤン・グリーン・クラブ」(一般公募含む)により、森林整備(下刈、歩道整備等)を行いました。(6回) 中学生による職場体験学習では、カワウと人との共生についての学習や植生回復地の施設整備を体験しました。(2中学校)</p> <p>また、一般市民にはカワウ被害と植生回復への取組の啓発としてリーフレットを配布するとともに、人が遊歩道を歩くことでカワウの追い払い効果が期待できることについて、ハイカーなどにもPRを行いました。</p>
国有林担当部局・役割	滋賀森林管理署業務課、治山課、流域管理調整官 (関係機関との連絡調整、技術指導)
連携協働相手先・役割	滋賀県、近江八幡市、NPO法人ヒマラヤン・グリーン・クラブ、一般市民(連絡調整、ボランティア活動の実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	ボランティア団体の取組では、森林整備活動の外、自然観察会やハイキングも実施されており、同国有林への利用頻度は高くなっています。(期間中134名参加) 現地に設置しているカワウとの共生内容の案内標識は効果的に機能していると判断され、リーフレットの利用もありました。(3000部増刷)
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: 署HP掲載、プレスリリース、プロジェクト説明看板、リーフレット配布 効果: 被害森林の再生、ボランティア意識の向上、一般市民への普及啓発、ハイキングによるカワウの追い払いが期待されます。
取組の実施に要した経費(単位:千円)	
取組の概要(内訳)	国有林負担 相手先負担

【参考資料】

取組名	「伊崎国有林カワウと人の共生の森プロジェクト」(継続)
-----	-------------------------------

森林ボランティア団体の取組



案内標識を使って説明



下刈(6月)



一般公募者も含む(6月)



リーフレット
「カワウと人の共生の森プロジェクト」

中学生の職場体験学習 [6月・11月](田上・八幡中学校)



カワウとの共生の森を見学



植生回復地で造林木の保護ネットを修理

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	間伐材の利用の拡大に向けた民国連携した取組（継続）		
流域名	湖南流域		
重点事項番号			
実施箇所及び実施日	(1)滋賀森林管理署 平成22年11月9日 (2)滋賀県高島市 平成22年9月6日（第1回）平成23年2月3日（第2回）		
取組の背景及び必要性	間伐材及び林地残材等の有効利用と需要拡大に向けて「湖東地域材循環システム協議会」（以下、kikito）がkikito-paperを制作しました。また、滋賀県高島地域では、西部流域森林づくり委員会（大津部会・高島部会）を設置し、地元の間伐材の利用拡大のためのシステム提案を行っています。		
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 間伐材の需要拡大のため、Kikito-paperのPR、購入等の支援、間伐材の販売を実施。また、高島流域森林づくり委員会において、オブザーバーとして取組に対する助言を行いました。</p> <p>【平成22年度の取組内容】 Kikito-paperのPR、購入、PR等支援を実施しました。また、新たに設置された西部流域森林づくり委員会（高島部会）では、オブザーバーとして助言を行いました。</p>		
国有林担当部局・役割	滋賀森林管理署業務課、総務課、流域管理調整官 (1)kikito-paperの利用拡大に協力 (2)オブザーバーとして助言、協力		
連携協働相手先・役割	(1)滋賀県、東近江市、Kikito等 (2)滋賀県、高島市、N P O、森林所有者、森林組合等		
取組の結果、反響、今後の課題等	(1)Kikito-paperの製品を普及宣伝のため購入し、署の会議等でPRした。（コピー用紙、ファイル外） (2)委員会に2回出席し、部会の取組に対する助言等を行いました。		
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：会議等で普及啓発 効果：(1)kikito-paperの利用拡大で地域の間伐材有効利用に寄与。 (2)システム提案（木材を利用・回復循環型システム）の進行により高島地域の森づくりの寄与が期待されます。		
取組の実施に要した経費（単位：千円）			
取組の概要（内訳）	国有林負担	相手先負担	

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	緑の雇用担い手対策のためのフィールド提供（継続）	
流域名	湖南流域・湖北流域	
重点事項番号		
実施箇所及び実施日	(1)滋賀森林管理署三郷山国有林 平成22年8月～平成23年3月 (2)滋賀森林管理署太神山国有林 平成22年5月～平成23年1月 (3)滋賀森林管理署奥島山国有林 平成22年9月～平成23年1月	
取組の背景及び必要性	林業従事者が減少、高齢化する中で、新規就労者の確保は重要な課題であり、林業事業体では滋賀県の助成を受けて新規就労者の雇用が行われています。このため、新規就労者への林業作業の技術研修、習得場所の確保が必要となっています。	
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 「緑の雇用担い手育成対策事業」の実施事業体と協定を結び、国有林を技術研修の場として提供してきました。</p> <p>【平成22年度の取組内容】 今年度は三者の林業事業体と協定を締結し、国有林内で除伐等の研修が実施されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)有限会社山崎農林 除伐作業 7.10ha 2名 (2)有限会社坂東林業 除伐・間伐作業 1.15ha 2名 (3)滋賀県森林組合連合会 衛生伐 15.72ha 6名 	
国有林担当部局・役割	滋賀森林管理署業務課、流域管理調整官 (関係機関との連絡調整、技術指導、研修場所の提供)	
連携協働相手先・役割	林業事業体	
取組の結果、反響、今後の課題等	国有林所在周辺地域での雇用確保や森林整備等の活動を通じ、林業従事者として専門的技能の習得が図られました。	
P R の実施状況及びその期待する効果	P R : フィールドの受入について各種会議で普及啓発 効果：林業従事者の新たな雇用に向け、山村地域における若者等の定着、林業技術の習得が期待されます。	
取組の実施に要した経費（単位：千円）		
取組の概要（内訳）	国有林負担	相手先負担

【参考資料】

取組名	緑の雇用担い手対策のためのフィールド提供（継続）
研修等実施状況	
	間伐作業（太神山）
	除伐作業（太神山）
	間伐作業（三郷山）
	除伐作業（三郷山）